

## 耐寒性スイレンの育て方

スイレンは、夏のあいだ咲きつづけて、涼しさを感じさせてくれる水草です。栽培が簡単で身近な容器でも作れます。

### 植え方

**容器** 深さが30～50cmのポリエチレンのバケツや漬物樽、水瓶などを使うこともでき、また、庭に穴を掘り、ビニールシートを敷いた簡単な池でも栽培できます。

**鉢** 小型種は4号、中型種は7号、大型種は8号以上の、いずれも平鉢を用います。

**用土** 田土か重い粘質土がよい。赤玉土と腐葉土の3：1混合土でも栽培できます。

**方法** 鉢穴を鉢かけでふさぎ、用土を1/3ほど入れ、固形油かすかリン酸とカリウムを多く含む化成肥料を混合したもの一握りを元肥として加えます。根をひろげ、土をつきかためながら、芽だけが出るように植え付けます。用土の表面は赤玉土で覆います。

### 置き場

1日中よく日が当たるところに置きます。植え込んで芽が出るまでは、芽までの水深を浅く（3～5cm）保ち、出葉後徐々に深くし、15～20cmの深さで育てます。

### 肥料

追肥は、元肥と同じものでよいので、10～15gほどを3～4週間に一度、鉢の縁より少し内側に深く埋め込みます。

### 病害虫

アブラムシが葉につきやすいので、早いうちに水をかけて取り除くか、魚が居ない所では適用のある殺虫剤を散布します。6月頃、トラフユスリカとミズメイガが発生するので、手で除去します。

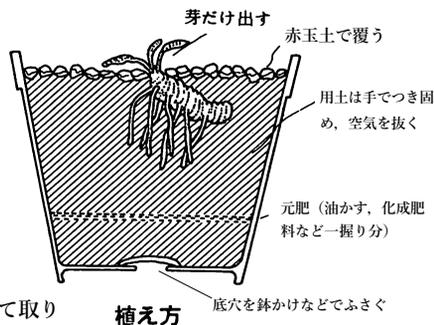
水瓶やバケツで栽培する場合は、水が腐らないように、時々水を入れ替えます。また、アオミドロなどが発生した時は、取り除くかミョウバンを少量加えます。（魚がいないところの場合）

### 冬の管理

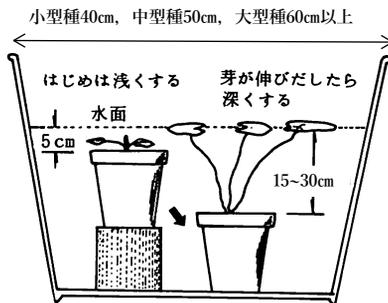
寒さには強いものですが、深いところへ沈めるか、芽が凍らないように保護します。

### 注意点

芽の中心部に日が当たらないと花つきが悪くなるので、黄色くなった古葉はこまめに取り除きましょう。



植え方



沈める深さ

